

愛知県は女性がもっとキラキラ働ける！

平成24年度

第1回 大村知事と語る会

「男女共同参画社会実現に向けて—女性が元気に活躍できる社会—」

写真／北川友美



知事は、出席者の問いかけに、わかりやすく、時には熱く対応



ウィルあいちの大会議室で開催。出席者、傍聴者のための託児所も館内に設けられていました



起業を目指す人をバックアップする「創業プラザあいち」など、「愛知県」としての取り組みを語る大村秀章知事

### 意見交換出席者の皆さん



ブラザー工業・人事部の小森美奈さん。社内のワーキングマザーの情報交換グループ「Brother Mothers」を主宰。ランチ会などで情報共有しているそう



アクションパワーの代表取締役の大津たまみさん。ハウスクリーニング、家事代行などが業務内容で、実際に起業した時の経験談はとて参考



整体師・骨盤美人体操講師の丹羽綾さん。働くママのプロジェクト団体「自営ワーママ☆クラブ」代表としての意見を語っていました



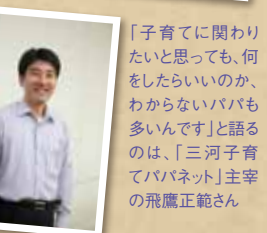
自身の考えや職場での同僚の声、また、お客様を通して感じる愛知の女性について語る、ミッドランドスクエアの広報マネージャー・林美保子さん



「家族の幸せがい仕事につながる」という考えのもと、職場環境の向上に努めている、弥富建設の代表取締役、犬飼将清さん



ワッツビジョン代表取締役の横井暢彦さんは、自社の技術で作ったタイムカプセル「夢たまご」を手に、「子どもの笑顔があふれるまちづくり」が企業理念



「子育てに関わりたと思って、何をしたらいいのかわからないパパも多いんです」と語るのは、「三河子育てパパネット」主宰の飛鷹正範さん

今まで愛知県の広報広聴課が定期的に行っている「大村知事と語る会」。7月に行われた平成24年度の第1回

女性が仕事に打ち込める環境づくり  
「愛知県」は働きやすい街！

前出の多三江さん、絢さん、由起子さん。それぞれ仕事や環境は異なりますが、多忙ながらも素敵な笑顔をみせてくれました。イキイキと充実した毎日を過ごしている証拠です。「子育てがひと段落したら、社会に復帰したいな」「仕事のスキルアップを図って、さらなる自分の可能性を探りたい」と思っていた人には、さっと映ったことでしょう。女性の向上心や探究心は、東海エリアをきつと元気にしていきます。

仕事に打ち込む女性の姿に「私も」と触発されませんか

のテーマは「男女共同参画社会実現に向けて—女性が元気に活躍できる社会—」でした。社会で活躍する元氣な女性たちや、それを応援する8人が集まり、様々な視点から意見交換をし、今後の愛知県の施策展開に役立てていくというものです。

意見交換出席者は、ハウスクリーニングなどを行うアクションパワーを起業した大津たまみさん、ブラザー工業の人事部にお勤めで「Brother Mothers」主宰の小森美奈さん、整体師でもあり「自営ワーママ☆クラブ」代表の丹羽綾さん、ミッドランドスクエアの広報マネージャーの林美保子さん。男性陣は、「平成21年度愛知県ファミリーフレンドリー企業（※）」として県知事から表彰された、弥富建設の代表取締役・犬飼将清さん、三河地区のパパサクル「三河子育てパパネット」主宰の飛鷹正範さん、手作りタイルメーカー・ワッツビジョンの代表取締役であり、「子どもの笑顔があふれるまちづくり」をテーマとした活動も行つて

いる横井暢彦さん。そして、小誌「メナージュ」編集長もせん越ながら、雑誌編集を通して見た愛知の女性についてを語る立場で出席させていただきました。

大村知事の司会では進行。子育てしながら働く女性の現状や、企業側の最近の動き、女性の起業についての愛知県の取り組み、子育てに積極的な「イクメン」についてなど、女性が社会で活躍するための事柄を様々な角度から意見が交換されていました。

この「大村知事と語る会」は、一般の傍聴者も会場に。男女年齢も様々ですが、皆さん真剣に話を聞き入っている姿に、関心の高さがうかがえました。

交わされる意見に耳を傾ける大村知事。「女性が元気に活躍できる社会」の実現に向けて、何かが進化した、あつという間の2時間でした。女性にとつて「働くなら愛知県が一番いいよね」となる日がやがてくるのかもしれない。「女性が元氣な愛知県」、今から楽しみです！

※ファミリーフレンドリー企業とは、仕事と育児・介護・地域活動など、仕事以外の活動とを両立できるような職場環境を持ち、従業員が働き方を選択できるような取り組みを行う企業のこと。